

No.	テーマ名	解決したい課題	実現したい目標	検証したい事項	支援できる内容
1	市民の身近に図書館サービスがある体制づくり	<p>現在、中央図書館としての長浜図書館と、浅井・びわ・虎姫・湖北・高月の各地域館、木之本・余呉・西浅井に所在するコミュニティセンターなど既存施設を活用したサービスポイントを設置し、市全域での図書館サービスを展開しているが、特に北部地域（木之本、余呉、西浅井）や中山間地域では交通の不便さ等により高齢者や子どもへのサービス提供が不十分な状況にある。</p> <p>また、現在の3つのサービスポイントは、合併前の旧町の中心地に立地する既存施設を活用しているが、司書がないことにより専門的なサービス提供ができていないこと、また高齢者や子どもなどの移動制約者へのサービス提供が十分とはいえないことが課題である。</p> <p>このため、既存施設にこだわらない新たなサービスポイントを拡充することでより身近な図書サービスを展開したいが、人件費、資料費、施設維持管理費等限られた予算のなかで効率・効果的なサービスをどう展開できるかが課題である。</p> <p>※サービスポイントとは：市民の生活同線に設け、身近で使いやすく、規模の大小を問わず本を選ぶ楽しみを提供できる場所 「長浜市図書館基本計画(第2期)」 https://www.city.nagahama.lg.jp/0000001561.html</p>	<p>情報収集、学習、余暇、研究、仕事等、市民一人ひとりがそれぞれの目的に合った図書館利用を身近にすることで、心豊かな生活を送れる環境の実現。</p> <p>★図書館資料貸出冊数の増加</p>	<p>既存の図書館以外にサービスポイントを設ける場合の効果的な方法 遠隔地におけるサービス提供の効果的な方法 モデル地域の実証実験結果の汎用性と持続可能性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の提供 ・協力施設や機関との調整窓口 ・司書の専門性 ・利用者の斡旋 ・周知・案内 ・モデル地域の提供
2	子どもの読書活動の活性化	<p>1か月間に本を読む冊数が1冊以下と回答した子どもの割合の推移では、小学校4年生から中学3年生において学年が上がるにつれて本を読まない実態が伺える。このことから青年期に差し掛かると読書活動から遠ざかる傾向が見られるため、とりわけ就学前、義務教育の段階において子どもに読書習慣をいかにつけることが大切だが、有効な手段等を見いだせていない。</p> <p>また、乳幼児のいる家庭における週4日以上読み聞かせをする割合を見ると家庭によって大きく差があり、子どもと本をつなぐ役割をもつ大人の読書への関心が薄い。</p> <p>「長浜市子ども読書活動推進計画(第3次)」 https://www.city.nagahama.lg.jp/0000002107.html</p>	<p>子どもたちが、あらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことで、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするといった、生きる力を育むことができる環境の実現。</p> <p>[子どもの読書量の増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1か月間に本を読む冊数 ・家庭で週4日以上読み聞かせをする割合 	<p>児童生徒が学校で1人1台タブレット端末を所有していることから、これらを活用して、効果的に読書活動のきっかけづくりを行う方法（学校図書館支援として） 絵本に関心がなかったり、図書館にきたことのない親子に、本や図書館に関心を持ってもらう方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の提供 ・協力施設や機関との調整窓口 ・司書の専門性 ・利用者の斡旋 ・児童生徒への周知・案内

No.	テーマ名	解決したい課題	実現したい目標	検証したい事項	支援できる内容
3	地域資料サービスの実践	<p>地域の資料や情報を積極的に収集・保存し、郷土の財産として次代に伝えていく役割が図書館にはある。さらに、この地域資料を市民等に積極的に提供し、それらの情報を市民と協働して活用する地域資料サービスの実践が必要である。</p> <p>このような状況の中、人材不足による地域資料を管理する体制の脆弱さ、劣化や損傷等のリスクが高い紙媒体での保存などの課題があり、さらに、地域資料の収集と情報提供、市民等による効果的な活用方策などの体制が確立できていない。</p> <p>「長浜市図書館基本計画(第2期)」 https://www.city.nagahama.lg.jp/0000001561.html</p>	地域資料の劣化や損傷等を防ぎ、より多くの人と共有・活用することで、市民等の学びの充実と地域の活性化を図る。	<p>職員に負担をかけずに、資料のアーカイブ化を行う方法</p> <p>コンピュータシステムのリプレイスに左右されない方法</p> <p>保存機能だけでなく、効果的な活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の提供 ・協力施設や機関との調整窓口 ・司書の専門性 ・周知・案内
4	ごみ収集等に関する緊急連絡等の円滑化	<p>収集日にごみ集積所の鍵が施錠されている場合、該当の自治会役員に電話連絡し解錠していただくなどの対応を取っているが、電話が通じない・通じても鍵の解錠を担当する者までの取り次ぎに時間がかかるなどの課題がある。</p> <p>また、自然災害等の非常時においては収集を中止する場合もあり、現状の周知方法としては前述のとおり電話による連絡となっている。</p>	<p>ごみ分別アプリ「こほくる〜」により、ごみの分別方法や自治会ごとの収集日などを周知しているが、さらなる市民への周知等の促進、また、緊急連絡等をスピーディー、シームレス、確実に伝える連絡体制の強化を図る。</p>	<p>従前からの電話連絡と比較し、新たな連絡体制による利便性や利用者の満足度等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元地域、湖北広域行政事務センター・ごみ等収集業者との調整等
5	ごみの不適正排出・不法投棄の防止対策	<p>ごみ集積所における不適正排出や不法投棄が後を絶たない状況である。</p> <p>発見しても原因者の特定が困難であり、ほとんどの事案において敷地等の管理者が収集・処分することで対応している。</p>	<p>ごみの不適正排出・不法投棄を未然に防止し、「ごみを捨てにくいきれいなまちづくり」を推進する。</p> <p>また、不適正排出等の早期発見・原因者の特定・指導等の対応をスピーディー、シームレス、容易に行える体制を構築する。</p>	<p>ごみの不適正排出・不法投棄の件数や度合いの減少等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元地域、湖北広域行政事務センター・ごみ等収集業者との調整等
6	テクノロジーを活用したカラスの追い払い等	<p>集団で行動するカラスによって、ふん害等の被害が発生している。</p>	<p>AIや電子音等を用いた装置などにより、人の手間をかけることなく、かつカラス以外への悪影響を生じさせることなく、効果的にカラスを追い払う。</p>	<p>当該装置等によるカラス追い払いの有効性、他者への悪影響の有無、装置等の取扱いやすさなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元地域との調整等
7	デジタルによる重層的支援体制の整備	<p>子ども・しょうがい者・高齢者といった対象者の属性や要介護、虐待、生活困窮といったリスク等を担当する各セクションにおいて収集した情報が共有できず、セクションごとに同一者に対して同様の質問をしたり、二重の対応を行ったりしている。</p>	<p>セクション同士における情報共有がシームレスに行え、適切な支援を実施できる環境を構築する。</p>	<p>システム等の導入により、情報共有が適切かつ効率的に行えるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有する個別業務の選定・各種調整

No.	テーマ名	解決したい課題	実現したい目標	検証したい事項	支援できる内容
8	AIを活用した心の健康に関する悩み相談事業	心の悩みは人に相談しづらい現状があり、誰にも相談できずに一人で悩みを抱え込み、最終的に自殺に至るケースがある。	人に話にくい心の悩みをAIに話すことで、心の癒しを得られたり、ストレス軽減につながるるとともに、自殺リスクのある人が適切な相談機関につながるができる。	利用者の満足度 (※対象：日ごろからSNS等を活用している若者や働き盛り世代の人を想定)	・実証実験のPR支援 ・相談内容に対する回答、自殺リスクのスクリーニング方法、適切な相談機関への導き方に関する情報提供・助言
9	AIを活用したゲートキーパーの養成・レベルアップ事業	ゲートキーパーの養成やレベルアップには対人によるロールプレイが非常に効果的であるが、人や時間の問題から簡単に実施できない。	一人でもロールプレイができ、スキルアップが図れる環境（AIによるシミュレーション等）を整備する。	通常どおり対人でロールプレイを行った場合と提案手法によりロールプレイを行った場合で、相談技術の習得やゲートキーパーとしての技能習得（レベルアップ）に差異があるか検証	・実証実験のPR支援 ・ロールプレイの内容検討
10	予防接種予診票の電子化・予防接種記録と接種スケジュールの管理及び接種勧奨の電子化	現在、予防接種の予診票は紙で管理しているため、記入漏れ等が発生したり、予防接種記録の集計に非常に手間がかかっている。接種するワクチンごとに接種年齢や接種間隔が異なり予防接種のスケジュールが複雑なものになっているため、接種者（保護者含む）、医療機関、行政のそれぞれにおいて確認漏れや接種漏れ等の不安要素を抱えている。また、行政として、接種時期に合わせた接種勧奨を行っているが、保護者の目に留まらないことがある。	予防接種予診票を電子化し、予診票管理の簡易化、記入漏れ・誤りの防止、集計の効率化を図る。 接種記録を接種者（保護者含む）、医療機関、行政の三者が、いつでもどこからでも接種後すぐに確認できる。 個人に合わせた定期・任意の予防接種スケジュールが自動で作成され、接種者（保護者含む）と医療機関が適正な接種スケジュールが確認できる。接種後はその接種記録がスケジュールと自動的に連携される。 接種者（保護者含む）への有効な接種勧奨の方法を確立。	試験導入を行い、医療機関の事務やリスク管理の負担がどれだけ軽減され、保護者が便利に活用できるか医療機関と保護者への満足度調査によって検証	・実証実験に係る外部機関（医療機関等）との調整 ・利用者への実証実験内容の説明、周知等
11	人工衛星データを活用した農地パトロールや作付調査	本市の農業振興地域は約9千haもの広大な面積となっていることから、現地確認には膨大な時間と労力がかかっている。	農業者の作付け状況に応じて国から交付される交付金関連事務における作付け状況の確認、及び農業委員会が行う耕作放棄地パトロールにかかる時間と労力を削減する。	人工衛星データの有効性や時間・労力の削減効果の検証（解析精度、削減手間量、事務経費等）	・実証実験のPR支援
12	地域公共交通の運行状況の見える化	バス停で待っている方に対し、路線バスの運行状況（工事や荒天、積雪等により遅延や運行中止している場合など）をリアルタイムで伝えること。	アプリ等を使って、バスの運行状況がリアルタイムに把握できる。	デジタル技術を使って運行状況の見える化を行うことによる利便性の向上が、バスの利用促進につながるかどうかを検証	・バス運行事業者との連絡調整 ・実証実験のためのバス車両等の提供依頼 ・行政データの提供 ・実証実験のPR支援
13	デマンド型乗合タクシー運行管理業務の効率化	デマンド型乗合タクシーの運行管理をデジタル化して、予約方法の多様化や運行記録の正確性の確保、補助金業務の効率化を図ること。	アプリ等のシステムを使って、デマンド型乗合タクシーの予約や運行記録を管理するとともに、当該システムから月報等が作成されることにより、補助金交付の事務手続が簡素化される。	デジタル技術を使った運行管理の効率化を図ることで、タクシー運行事業者の負担軽減につながるかどうかを検証	・タクシー運行事業者との連絡調整 ・実証実験のためのデマンド型乗合タクシー車両等の提供依頼 ・行政データの提供 ・実証実験のPR支援

No.	テーマ名	解決したい課題	実現したい目標	検証したい事項	支援できる内容
14	本市の地域課題の解決や市民生活の質の向上に資する事業提案 (フリー提案)	<p>長浜市総合計画第3期基本計画で掲げる重点プロジェクトやその考え方等に即した事業提案を求めます。</p> <p>【重点プロジェクトの考え方】</p> <p>本市は、京阪神や中京圏などの都市圏からの交通アクセスに優れていながら、人が密集せず暮らすことができ、真に生活の豊かさを感じられる地域であるとともに、自然や歴史文化が豊かで、脱炭素社会を推進する上で、貴重な地域を生かした、持続的な低密度社会を実現できる可能性が高く、非常に魅力ある地域だと言えます。これらの魅力を市内外の方々に伝え、実感してもらい、本市に定住してもらうためには、本市がもつ多様な地域資源を再認識し、磨き、発信していくことにより、地域の特色を生かした地方創生の取組を推進することが必要と考えられます。</p> <p>第3期基本計画では、上記の課題に向けた対策として、本市の多様な地域資源をはじめとする「長浜らしさ」を生かして、特に若者が安心して暮らし、働ける環境づくりに取り組みます。また、チャレンジし、活躍できる環境を長浜市に関わるすべての人で作りあげていくことをめざすとともに、SDGs（持続可能な開発目標）の実現モデルとなる取組に配慮しながら、人口が減少しても持続的なまちづくりの検討を進めます。</p> <p>【4つの重点プロジェクト】</p> <p>①多様で柔軟な「働き方の創造」プロジェクト ②長浜に人を呼び込む「活躍の場創出」プロジェクト ③子どもと若者を包括的に応援する「未来のこども育成」プロジェクト ④それぞれの地域が魅力を高め合う「持続的なまちづくり」プロジェクト</p> <p>「長浜市総合計画第3期基本計画」 https://www.city.nagahama.lg.jp/0000001416.html</p>			